SAITAMA CPA NEWS

Vol.5
2018.01.01

日本公認会計士協会埼玉会

JICPA

CONTENTS

会長挨拶
日本公認会計士協会会長挨拶
財務省関東財務局長挨拶
埼玉県知事挨拶
副会長挨拶
平成29年度第４四半期
及び30年度研修計画
委員会活動説明
平成29年度中間事業報告
年賀名刺広告
ハロー！会計講師募集
埼玉会行事
相談役コラム
CPE取得の案内
会員コラム
事務局紹介

会長挨拶

埼玉会 会長
小山 彰

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。埼玉会の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。日頃は埼玉会の会務にご協力をいただき有難うございます。

早いもので埼玉会が平成28年４月１日に地域会化となって１年と９ヶ月を経ました。

地域会としての事業、つまり日本公認会計士協会の地域会の事業に掲げられております「会務に関する連絡事項を地域会所属の会員及び準会員に伝達し、又は連絡事項を実施すること」他４つの事業項目を達成すべく邁進しているところでございます。この１年と９ヶ月の期間はあっという間に過ぎたと感ずるところです。

そして埼玉会の平成29年度の基本方針は設立初年度とほぼ同じ方針でしたが、特に単一会の中における支部としての地域会は、協会本部と連携し会務を行っていくのが役目であると認識し会務を行って参りました。

第２年度の埼玉会としましては、事業の大綱として①組織の構築、②地域社会への貢献、③会員へのサービスの充実と会員の会務への積極的な参加という３項目、及び重点施策として16項目を掲げました。今２年度の終盤に差し掛かり事業の遂行状況の検討を行い、今年度にやり残した事業は無いかと現在鋭意精査しているところです。年頭に当たりまして私の所感を述べさせていただきます。

⑴ **総務関係**

昨年は事務局の入・退職があり会員・準会員の皆様にご迷惑・ご心配をおかけいたしました。会務の遂行には事務局体制の充実が不可欠であり、現在それに向けて努力しているところです。

また、昨年青年部を創設しました。若い会員・準会員の参加が会務の活性化に必要ですので青年部の活動のさらなる活性化に努めて参ります。

⑵ **経理関係**

昨年は経理担当の事務局職員の交代などもあり、経理事務の運営に多少の支障を来した部分もありましたが、予算の精緻化、速やかで正確な決算業務のためにも、経理委員会を中心にその立て直しに努めて参ります。

⑶ **厚生関係**

東京会においては、本部財政改革の動きと相俟って慶弔規程を見直す動きもあるようです。埼玉会としては情報の収集に努めながら、地域会としての独自の判断に基づき対処したいと考えています。

⑷ **研修関係**

東京会から地域会として独立したことに伴い、埼玉会のCPE履修率が低いことを認識しました。２年度はDVD研修にライブ研修を織り交ぜながら、埼玉会研修室における研修の回数を初年度に比較し格段に増加させました。今後は、年度当初に会員がCPE履修の年度計画を立てられる有用な情報を提供することが必要だと考えています。そのためには、研修委員会がしっかりと企画・実施を行う必要があると考えています。

⑸ **業務関係**

関東財務局、地方公共団体、大学教育機関の他関係諸団体への表敬訪問や連絡会をさらに広げていくとともに、県内友好士業との交流促進に努めて参る所存です。

また、昨年は地区会当時よりも多くの推薦依頼がありました。これらの要請に応えるため推薦委員会がフル活動しましたが、今後は推薦依頼への適切な対応のため、研修会・勉強会などの実施によって人材の確保にも努めて参ります。

さらに、昨年まで整備・運用の支援に努めてきた公会計統一基準に基づいて作成された財務諸表を、地方公共団体に活用していただく、あるいは住民の皆様にご理解いただくための諸施策を企画・実施して参りたいと存じます。

今年度導入された社会福祉法人監査につきましては、社会福祉法人委員会を中心に、昨年度に引き続き埼玉県及びさいたま市とも連携をとりながら、社会福祉法人向けのセミナー等を行い、充実した取り組みを行ってきたと自負しているところです。

来年度は医療法人監査の導入もあり、埼玉会としても医療法人委員会を立ち上げ積極的に関わっていかなければならないと思っています。

⑹ **調査研究関係**

新たな公認会計士の業務分野に関して、会員の皆様への各種研修会の機会を提供し、会員の皆様に喜ばれる内容の情報を提供していくためには、調査研究委員会所管の委員会が研修委員会・業務委員会としっかりと連携していかねばなりません。そのための司令塔の役目を果たすのが調査研究委員会の役目だと考えています。

⑺ **広報関係**

まずは、大学生・高校生向けの制度説明会をさらに質・量ともに増やし、社会貢献活動として小・中学生向け会計教育講座「ハロー！会計」をより一層充実させなければなりません。またリニューアルされた埼玉会ウェブサイトの内容を一層充実させ、会員への情報伝達手段を確固たるものにすることが肝要です。さらに公認会計士制度70周年に当たる今年は、地域会としての記念事業も実施する必要があります。

どうぞ今後とも埼玉会の会務にご協力いただくとともに、私ども役員に対するご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、埼玉会の会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

皆様と共に公認会計士の未来を切り拓いていきたい！

日本公認会計士協会会長
関根 愛子

2018年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素より日本公認会計士協会（以下「当協会」という。）の会務にご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。

2018年７月に、公認会計士制度は70周年という節目の年を迎えます。いうまでもなく、社会全体のグローバル化や情報化に伴って、公認会計士を取り巻く様々な環境は、現在、大きな変革期の１つにあるといえます。変革の時代にあるからこそ、私どもは、公認会計士法第１条で定められた使命や、社会に貢献してまいりたいという標語に掲げたその志を実現できるように、一層、邁進していかなければならないと考えています。常に自らの改革をしながら、努力を積み重ね、その努力の結果、公認会計士が、一足先のテクノロジーとイノベーションを追い求め、高品質の各種の業務を提供し、世界の舞台でも我が国の舞台でも、様々な経済ビジネスシーンにおいて、重要なキープレイヤーの一員としてリードする存在となることが私の思いです。そのような、高い目標を実現することができる公認会計士の未来を信じ、皆様と共に公認会計士の未来を切り拓いていきたい、そのように思っております。

そのような思いのもと、当協会が直面する様々な課題を解決するべく、大きく３つの柱に分けて取り組んでおります。

まず、公認会計士監査の信頼回復と向上に向けて、財務情報を支える市場関係者の一翼を担う公認会計士の立場で、本来あるべき情報開示や資本市場のインフラの信頼の要としての監査について検討しております。

次に、社会で貢献し活躍するための環境作りに向けて、例えば、非営利分野において、医療や介護といった社会保障の持続可能性を維持し、効率的なパブリックサービスに貢献している専門家であることについて、社会からの理解を是非とも得たいと考えます。また、「持続可能な開発目標（SDGs）」の取組みを一層推進していくことが必要と考えており、専門的知見を最大限に生かしながら、「公共の利益に貢献する公認会計士」を実現していきたいと考えております。

最後に、公認会計士の魅力向上策に引き続き積極的に取り組みたいと思っております。「公認会計士は人工知能（AI）に取って代わられ、なくなってしまうのか」と、大学生たちが真剣に不安を感じていることがわかりました。AIに取って代わられるのではなく、公認会計士は、AIの活用により、経営者との議論や、専門家としての判断業務に集中していくべきと思っています。

これらの施策を実現するためにも、透明性、発信、対話の向上にもつとめていきたいと考えており、今後も一層、当協会の基盤整備や情報発信に力を入れていきたいと思います。

公認会計士制度が80年、90年、100年と持続的な成長をしていけるよう、今後も引き続き尽力したいと思います。皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。最後に、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

財務省関東財務局長
浅野 僚也

新年あけましておめでとうございます。

日本公認会計士協会埼玉会及び会員の皆様方におかれましては、日頃より、私ども関東財務局の業務運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

埼玉会は、一昨年の４月に発足して以来、小山会長をはじめとする執行部の皆様方のご尽力のもと独立した組織としての体制を整えつつ、地域会としての活動をひとつひとつ着実に進めてきていると承知しています。

引き続き、独立した地域会として、地元自治体や関係諸団体との連携・交流を深め、日々の活動を通じて地域社会の健全な発展に寄与されますことを祈念しております。

公認会計士を巡る最近の動向について申し上げます。

当局では毎年、公認会計士・審査会からの事務委任を受け、公認会計士試験を東京で実施しております。

近年の同試験の受験者数の推移をみますと、平成29年試験では、11,000人台を回復するなど僅かながらではありますが、２年続けて増加している傾向が窺えますほか、年齢別合格者の割合をみますと、20歳以上25歳未満の年齢層の合格率も同様にこのところ上昇してきており、公認会計士に対する若者の関心が徐々に高まっているとみております。

加えまして、昨今、公認会計士の関与が求められている領域は、従来の企業会計のみならず、公会計の整備支援や社会福祉法人等の非営利法人の監査などに広がりをみせており、公認会計士に対する社会からの期待は益々高まっている状況にあります。

こうした中、昨年６月、金融庁から「監査報告書の透明化について」が公表されました。会計監査における「透明化」の導入が国際的にも進められている中で、今後、企業会計審議会において、「透明化」について、具体的な検討を進めていくのですが、監査報告書の情報価値の向上に加え、監査品質の向上のためには、企業と監査人とのコミュニケーションをより一層充実していくことが必要と思われます。

私ども関東財務局も、「財務局に相談すれば地域の課題が解決できる」といった「地域の信頼」を得るために、地域のニーズに的確に応える取組みを進めており、その取組みを進めるためには、地域のネットワークをしっかりと構築し、地域の視点で物事を考え、地域にどのようにすれば貢献できるのかを考えていくことが肝要ではないかと考えています。

当局といたしましても、我が国経済にとって極めて重要な機能である会計監査を担われている埼玉会及び会員の皆様方と、引き続き、あらゆる機会を活用して意見交換や情報交換を行うなど、密接に連携して参りたいと存じますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、埼玉会の皆様方には、今後とも会計の専門家として、厳正な監査の実施と監査品質の確保に向けて一層のご尽力をお願いいたしますとともに、日本公認会計士協会埼玉会のさらなるご発展と会員の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

10年先を見通した埼玉づくり

埼玉県知事
上田 清司

明けましておめでとうございます。日本公認会計士協会埼玉会の皆様には、監査・会計の専門家として、日頃より本県経済の健全な発展のため御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、花咲徳栄高校が全国高校野球選手権大会で埼玉県勢初の優勝を成し遂げるという、とてもうれしい出来事がありました。

埼玉県も元気です。
日本の総人口が減少する中、本県は全国３位の増加率で730万人を超えました。平成15年からの名目県内総生産の増加額は全国２位、平成17年から10年間の企業本社転入超過数は全国１位です。

そして、来年はラグビーのワールドカップ大会が、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。県民の皆様と共に「オール埼玉」で大会を盛り上げていきたいと思います。

さて、今年は平成30年という節目の年であることから、過去を振り返り、先の10年を考えてみたいと思います。

我が国の生産年齢人口は平成７年をピークに減り始め、その減少数は今年で1200万人を超え10年後はさらに500万人減ると見込まれています。正にこれからは、社会における一人一人の価値が高まっていく時代だと言えます。
そして10年前のリーマンショックは非正規雇用を急激に増やし、あるいは製造業の海外移転で地方における若者の雇用の場を減らしました。これが、貧困や格差、地方創生といった今の社会問題につながっています。

本県においては、いち早く取り組んでいる「埼玉版ウーマノミクス」の効果もあり、働きたい女性を支える環境が整ってきました。さらに、活躍し続けたいシニアの働く場の確保や地域デビューの後押しなど、それぞれの希望にかなった社会参加を支援していきます。そして、健康寿命を延ばし医療費の抑制にも効果のある「健康長寿埼玉モデル」を県全体に広げ、全ての人が活躍できる埼玉を目指します。
また、これからは人手不足を補いつつ生産性向上にもつながる人工知能やロボットなどの最新技術の普及が加速度的に進むと思われます。そこで今後10年を考えると、まずは新しい成長産業を創り、稼ぐ力を取り戻すことが何よりも重要です。ナノカーボン、医療イノベーション、ロボットなど５分野で取り組む「先端産業創造プロジェクト」では、リチウムイオン電池の２倍を超える大容量が可能なマグネシウム蓄電池の実用化にめどが付くなど成果が出てきました。さらに実用化や製品化を進め、先端産業企業の集積につなげていきます。
そして10年後には今の半分の仕事がなくなるという見方もあることを考えると、子供たちの創造力を伸ばす教育にも力を入れていかなくてはなりません。
さらに、貧困や格差は生活に直結する重要な課題です。「生活保護世帯の子どもの学習支援」は埼玉から全国に広がり、「児童養護施設退所者のアフターケア」は進学、就職、資格取得で大きな成果を上げています。
これからも足元から10年先までをにらんだ本質的な取組を追求し、埼玉の未来を創っていきたいと思います。

今年も県政への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

副会長挨拶

副会長（総務）
西川　正純

新春を迎え、健やかな日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。埼玉会の会員の皆様には、日頃より会務にご協力いただきありがとうございます。

昨年６月22日の第２回定期総会では、多くの会員皆様の出席のもと、第１年度の財務諸表等、また第２年度の事業計画案及び予算案のご承認をいただくことができました。小山会長のもとご承認いただきました事業計画に基づき会務を執行しております。

新年１月24日には、大宮ソニックシティ会議室において、会員研修会を開催いたします。研修テーマとしては、前半に相続税法の改正により相続税の申告件数が増加してきていることから、公認会計士の苦手な分野である相続争議に視点を当てた内容で、埼玉弁護士会所属の弁護士にお話しをお願いしております。また後半は関東財務局長の浅野僚成様にご講演をお願いしております。研修会終了後には、パレスホテル大宮にて、関東財務局長、埼玉県知事その他多くのご来賓をお招きしての新年賀詞交歓会を開催いたします。

会務執行にあたりましては、日本公認会計士協会の本部施策に協力し、また東京会や神奈川県会、千葉会との情報交換を通じて４地域会での協調を図りながらも、埼玉会の独自色を出した活動を行っていくよう努めています。

その他、埼玉会青年部の活動を活性化・活発化し、会行事に参加していただける若手会員の増加につながるよう、総務委員会としましても積極的にバックアップしていきたいと考えています。

副会長（業務）
工藤　道弘

明けましておめでとうございます。埼玉会会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

埼玉会第２年度目における業務委員会及び推薦委員会の活動についてご報告いたします。今年度におきましても、地区会時代から継続している関東財務局長、埼玉県知事及びさいたま市長への表敬訪問を実施し、地域経済の状況や統一的な基準による公会計の導入及びその啓蒙活動についての意見交換を行いました。さらに、今年度から社会福祉法人法定監査が始まりましたが、今後の監査範囲拡大に対する社会福祉法人の準備状況を確認するために埼玉県の福祉監査課、さいたま市の監査指導課、さらに埼玉県及びさいたま市の社会福祉協議会等を訪問し、意見交換を行いました。

次に、埼玉会への推薦依頼状況ですが、地域会に移行して以来、推薦依頼件数が増加しており、今年度に入ってその傾向がますます顕著になっております。推薦依頼の内容としては、包括外部監査責任者、県出資法人の外部監査人、各種公益法人の監事及び地方自治体の各種委員会委員等です。

埼玉会の会務を通じて感じることは、地域社会からの埼玉会に対する期待が非常に大きなものだということです。この期待に全力でお応えすることで、公認会計士への期待が信頼へとつながり、さらに推薦依頼が増えるという良い循環が生じていると思います。この流れを止めないように、今年も精一杯会務に努める所存です。

副会長（経理）
飯野　浩一

新年明けましておめでとうございます。埼玉会の皆様におかれましては、すこやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は埼玉会の事業、予算執行等について、ご理解とご協力頂き誠にありがとうございます。副会長として参加させていただき、地域における公認会計士への期待が少しずつですが高まっているのを感じた１年であった一方で、監査業務の高度化、テクノロジー化、国際化により、地域における公認会計士のプレゼンスについて厳しさが増したかのように感じた１年でした。

そのような中、会員の皆様の埼玉会に対する期待はますます高まるように思われます。日本公認会計士協会の本部施策に沿いながらも、地域会における会員の皆様の期待に応えられるよう会務に努めてまいります。経理担当としましては、皆様からの貴重な会費を有効に活用し、効率的な経理業務を事務局とともにすすめてまいります。

本年も皆様のご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

副会長（厚生）
小川千恵子

あけましておめでとうございます。厚生担当副会長の小川千恵子です。

厚生事業についてご報告申し上げます。

会員表彰

米寿	１名	喜寿	４名
業務50年	１名	業務30年	９名

親睦事業

平成29年７月７日（金）～８日（土）	箱根親睦旅行	参加者19名
平成29年11月３日（金）	スリーデーマーチ	参加者17名
	同懇親会	参加者13名
平成29年12月15日（金）	親睦ゴルフ大会	参加者10名

昨年の厚生委員会の親睦事業である箱根親睦旅行では、集合場所の大宮から貸切観光バスを利用し、バスの後方はサロンカー形式にしたので、往路復路とも車内で楽しく歓談し、お酒を飲むことができました。また、東松山の日本スリーデーマーチですが、第40回記念大会ということもあり、参加記念品としてステンレスボトルがつくなど、例年よりも豪華に感じました。

厚生委員会の反省点としては、昨年のSAITAMA CPA NEWSで日帰り旅行について提案したいと書かせていただいたものの、実際に企画ができなかったことが挙げられます。申し訳ありませんでした。

今年は恒例の親睦旅行や親睦ゴルフ大会はもちろんのこと、お座敷列車での宴会やワイナリー巡りなど、会員のみなさまが気軽にご参加いただけるようなイベントも考えています。会員・準会員のみなさまにもお知恵を拝借したいと思いますので、やってみたい企画がありましたら是非お知らせください。今年度の厚生委員会のイベントをさらによいものにしていきたいと思っています。

本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

副会長（研修）
平山　孔嗣

あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかな新年をお迎えこととお喜び申し上げます。

地域会も２年目が経過しつつあり、研修委員会も各種委員会との連携が密になり、定例の研修会と業界を取り巻く情勢にタイムリーに対応した各種委員会の企画を皆様に提供すべく努めてまいりました。お陰様で、昨年も年末研修においては、地元ITの専門家にお願いし、自身の事務所を含めた中小企業に係る情報セキュリティーをわかりやすくご説明いただき、また、最新のAI事情についてもお話しいただきました。日頃、使っていながら世界の動きがわかりにくい分野での知識を補充できたと考えております。また、新春には恒例の関東財務局長様のご講演をいただく予定です。また、皆様のCPE取得100％を目指して、受講の利便性を高めることに努めるとともに、隣接士業の研修義務達成への支援も進めてまいります。

年度末に向けて、中小企業、学校法人、医療法人、社会福祉法人関連等の業務密接のライブ研修も目白押しです。また、必修科目のDVDの研修もできるだけ用意いたします。会員各位におかれましては取り忘れなど無きようスケジュール調整等よろしくお願い申し上げます。

研修委員会では、質疑応答可能なライブ研修の一層の充実を考えております。講師、内容等ご要望あれば事務局にお願いいたします。

副会長（調査研究）
土屋文実男

新年明けまして、おめでとうございます。

埼玉会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

地域会となった埼玉会がスタートし、私が小山会長のもとで副会長として調査研究委員会を担当させて頂くようになって、いよいよ折り返し地点を迎えております。

調査研究委員会は、財務省関東財務局との連絡窓口の役割を果たしています。関東財務局は埼玉会の隣の駅に位置しますから地理的に近いこともあり、連絡会等で密接な関係を築いています。

また、７つの委員会すなわち公会計委員会、学校法人委員会、公益法人等委員会、社会福祉法人委員会、NPO法人委員会、税務委員会、中小企業支援対応委員会を管轄します。この７つの委員会には、報告書等の成果物を求めるものではなく、自主的な勉強会ともいえるものですが、それぞれの専門分野からの埼玉会への問い合わせの受け皿となるものでもあります。埼玉県を中心とした行政の専門員への推薦依頼等に積極的に答えています。委員会で専門的能力を高め、会員の皆様のビジネスに役立つものと期待しています。また、専門的な知識の研鑽だけでなく、会員相互の情報交換や親睦にも役立っています。

今年は、医療法人委員会を立ち上げる予定です。興味を持って頂けた皆さまは、遠慮なくご連絡下さい。委員会の活発な活動には、会員の皆様の積極的な参加が必要不可欠であります。

本年も会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

副会長（広報）
佐久間仁志

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

広報委員会は、①SAITAMA CPA NEWSの発行、②制度説明会の実施、③ハロー！会計講座の実施、④各種PR広告の掲載、を主な事業として活動を行っております。

SAITAMA CPA NEWSは、現在年２回発行し、今年度は第４号（夏季号）、第５号（新年号）を発行しております。原稿及び新春挨拶広告につきましてはご協力ありがとうございました。制度説明会につきましては、４月に獨協大学、７月及び12月に埼玉大学に訪問して説明会を実施しております。ハロー会計につきましては、４地域会合同事業として、小学生を対象とした公開講座「ハロー！会計サマースクール」を８月に開催し、12月には埼玉大学教育学部附属小学校４年生を対象とした訪問講座を実施しました。各種の広報事業に参加された会員の皆様、ありがとうございました。

今年も、CPA NEWSの発行、制度説明会及びハロー！会計の実施を計画していますが、特別事業としては、日本の公認会計士制度が誕生してから70年を迎えるため、埼玉会では８月４日にソニックシティにて70周年記念講演会の開催を予定しております。著名な講師を招いて開催しますので、是非ご注目ください。

今後も会員相互の情報交換の手段を提供し、また地域社会に貢献する公認会計士をPRするため、積極的に事業を行って参りますので、ご協力よろしくお願いいたします。

平成29年度第４四半期及び30年度　研修計画

29年度		研修内容	項目	単位
30年１月17日	D	監査保品質管理の実務	監査の品質	2
	D	倫理規則改正に向けた動向	倫理	2
30年１月24日	L	相続を巡るトラブルと遺言書	埼玉弁護士会所属弁護士	2
	L	関東財務局長　講話	コンサル	1
30年１月30日	L	中小企業事業承継についての解説	コンサル	4
30年２月５日	L	学校法人監査　埼玉県庁所管課	監査	1
	L	福祉法人監査　埼玉県庁所管課	監査	1
	L	医療法人監査について	監査	2
30年２月14日	D	監査人のためのIT研修　ITリスク評価	監査	2
	D	倫理規則改正に向けた動向	倫理	2
30年２月15日	D	監査品質管理の実務	監査の品質	2
	D	不正会計事例	不正事例	2
30年２月19日	D	誤りやすい印紙税実務のポイント	税務	2
	D	税法上の配当概念の意義と今後の課題	税務	2
30年３月23日	L	公会計の動向	非営利	3
30年３月中旬	D	必修科目を中心	各種	8

30年度		研修内容	項目	単位
30年４月下旬	L	監査事例	監査の品質	4
30年７月中旬	L	夏季研修　改正税法	税務	4
	L	倫理	倫理	2
30年10月中旬	L	不正事例	不正事例	2
	L	監査の品質	監査の品質	2
30年11月中旬	L	新規登録会員研修	コンサル	3
30年11月下旬	L	巡回研修　越谷大会	税務	3
30年12月上旬	L	冬季研修　IT及び経営	コンサル	4
31年１月中旬	L	埼玉県経済情勢	コンサル	2
	L	財政講演	コンサル	1
31年１月下旬	L	中小企業支援	コンサル	4
31年２月上旬	L	学校法人監査　埼玉県庁所管課	監査	1
	L	福祉法人監査　埼玉県庁所管課	監査	1
	L	非営利法人会計	会計	2
31年３月下旬	L	公会計	非営利	3

ＤはDVD　Ｌはライブ研修です。この他に毎月適宜最新のDVD研修を実施します。研修の実施時間、申込につきましては、事務局に問い合わせてください。

委員会活動説明

ＩＴ委員会

委員長　新江　　明

新年、あけましておめでとうございます。研修の受講はもちろん、会員の皆様により便利な形で埼玉会の情報を共有できるよう、ITを活用して協力できればと思っております。私がITを活用するにあたって気をつけていることがあります。「利便性」の追求はもちろんですが、同時に「管理の煩雑化」ももたらすのでトータルで利益になるのかどうかを常に気をつけております。

例えば、埼玉会でITで活用するのは、埼玉会会員の個人情報、研修の情報、埼玉会で催される様々な活動の紹介などです。ここで「利便性」を追求すれば、個々の会員ごとにIDとパスワードを付与すれば、埼玉会の必要なメンバーにだけ情報を提供することも可能です。しかし、管理者たる事務局サイドではIDとパスワード管理という今までなかった業務が生じますし、利用者たる会員にとってもIDとパスワードを常に覚えていなければなりません。一定頻度でパスワード更新となれば尚更だと思います。ITを活用するにも「利便性」と「管理の煩雑化」が両方ついてくるのです。

このような点に注意してＩＴを活用し、会員の皆様に利益還元できるよう、活動したいと思います。本年も宜しくお願い申し上げます。

学校法人委員会

委員長　金井　千尋

学校法人委員会では、埼玉県総務部学事課の皆様と活発な交流を行い、貴重な意見交換の場としての活動を行っております。

本年度、平成29年９月４日に開催しました第１回目の委員会では、上半期の私立学校に対する実地検査の中で指摘をした事項について、学事課検査指導担当よりご説明を受けました。法令の解釈や現場での運用等について、会計士側から質問があり、それに対して丁寧にお答えいただきました。

次回の委員会は、平成30年３月に開催する予定で、その際には、下半期の実地検査における指摘事項のお話をいただく予定です。

また、平成30年２月５日には、定例研修会を、ソニックシティ展示場において開催いたします。学事課より講師をお招きして、実務に役立つご講義を頂戴する予定です。

学校法人の監査に従事しておられる方、これから業域を広げようと思われている方、少しでもご興味のある方、広く皆様のご参加をお願い申し上げます。

中小企業支援対応委員会

委員長　中澤　仁之

中小企業支援対応委員会では、覚書を締結している県内金融機関のうち、平成29年１月に川口信用金庫、７月に飯能信用金庫、９月に青木信用金庫を訪問し、中小企業支援について意見交換を行いました。

今後の予定は、平成30年１月30日（火）の午後に「事業承継支援に係る研修会及び事業承継に係る関係諸団体との意見交換会」を開催します。研修会では、本部中小企業施策調査会事業承継支援専門部会の河原部会長を初めとする専門部会の委員の皆様に、事業承継ガイドライン及び事業承継支援マニュアル等の基本的な内容から実践的な活用方法までを解説していただきます。また、関係諸団体との意見交換会では、埼玉県事業引継ぎ支援センターや県内金融機関のご担当者をお招きして、事業承継支援についての意見交換を予定しています。

その他、委員会自体も定期的に開催して行きたいと考えています。

当委員会は、中小企業支援に係る関係諸団体との連携推進と、中小企業支援に係る会員向け研修の企画・開催とを二つの柱として、今後も取り組んで行きます。

公会計委員会

委員長　長内　温子

11月27日に行われた日本公認会計士協会東京会主催の第２回公会計コンベンションに参加してきました。テーマは、地方公共団体における複式簿記・発生主義による財務書類の公表と活用です。八王子市、福生市、町田市及び多摩市における取組みについて、４市の担当者から取組状況を紹介するプレゼンテーションがあり、質疑応答・意見交換が行われました。東京多摩地区の市町村から会計課や財政課の職員を中心に多くの方が参加され、地方議会からの参加者もあり、財務書類の公表と活用について関心の高さがうかがわれました。

３月23日15時より公会計研修会を実施いたします。講師は、協会本部公会計委員会地方公会計・監査検討専門部会専門委員の山田達也氏で、テーマは「地方公会計の現状と今後の課題（仮）」です。統一的な基準による財務書類等が平成30年度から運用開始となることを踏まえ、地方公会計を巡るこれまでの動きと今後の課題について、具体的事例を交えて説明をいただく予定です。埼玉会のライブ研修会としては、今年度を締めくくる最後の研修会となります。是非ご参加ください。

ＮＰＯ法人委員会

委員長　金子由里子

今年も昨年と同様、NPO法人に関する研修、埼玉県共助社会づくり課の専門家ボランティアとしてマッチング事業への関与、NPO法人会計税務相談へのプロボノとしての参加、NPO法人の会計や税務について事例研究の勉強会の開催を予定しております。昨年９月25日（月）には埼玉県共助社会づくり課共助仕掛人藤井美登利氏、公認会計士の中村元彦先生をお迎えして当委員会主催の研修を開催致しました。多くの会員が出席する中、大変実りある研修となりました。本年１月には、埼玉県共助社会づくり課主催の共助コンにも専門家ボランティアとして当委員会も参加いたします。また、昨年同様、NPO法人の会計税務に関する研修会開催を予定しております。NPO法人に関して、NPO法人会計基準改正、遺贈による寄付、空き家対策、民泊等のトピックスが沢山ございます。今後は我々公認会計士の関与も拡充すると思います。会員の皆様方にもNPO法人に関して有意義な情報を積極的に発信していきたいと思っております。NPO法人にご興味のある会員の方は当委員会へぜひご入会ください。お待ちしております。

公益法人等委員会

委員長　村田　克也

公益法人等委員会は、現在16名（委員長、副委員長２名含む、前回から１名増加）で活動しています。活動内容ですが、主に埼玉県が出資する公益法人を監査する監査人を育成しようとする目的から、公益法人会計の研修を毎年実施しています。

例年、公益法人等委員会で当年度の計画を策定し、当該委員会を踏まえて、研修を企画し実施しています。当年度は、12月20日に公益法人等委員会を開催しました。昨年度開催しました「公益法人会計基準に関する実務指針」の改正に関する研修で、一通り落ち着いた状況でありますので、今回は研修ではなく、情報・意見交換会を実施する予定でいます。

埼玉会における公益法人等委員会のメンバーは、経験豊富なベテランの会員だけでなく、全くの未経験や若い会員まで、経験・知識共に様々な会員が在籍しています。委員長である私も、数年前までは全くの未経験で知識もほとんどない状態からのスタートでしたので、同じように未経験な会員も積極的に受け入れをしています。

公益法人会計及び監査に御興味のある会員は、是非とも御気軽に御参加ください。

社会福祉法人委員会

委員長　大野　夏美

社会福祉法人委員会におきましては、「社会福祉法人に対する公認会計士監査等の概要」というテーマで、社会福祉法人関係者及び行政関係者の方々に対し、各関連行政機関等のご協力をいただき、委員を講師として、３回のセミナーを実施いたしました。また、セミナー参加者に対し、個別相談会も実施いたしました。その他、恒例となりました、埼玉県福祉監査課の方々と、今年度から新たにさいたま市監査指導課の方々が加わり、社会福祉法人委員会メンバーと、会計処理等に関するざっくばらんな意見交換会を２回実施いたしました。

次年度においても、厚生労働省等の動向を見据えて、活動していきたいと考えております。また、行政の方々とのざっくばらんな意見交換におきましても、例年、お互いに様々な事例をお聞きすることができ、自身だけでは体験できない案件が話題となり、非常に有益な機会になっていると考えております。今後、ご多忙であるとお察しいたしますが、より多くの委員の方々に積極的にご参加いただけますと、委員の皆様にとって有益であると考えております。

最後に、このような様々な活動に対し、全ての役員の皆様、委員及び会員の皆様、そして事務局の皆様に深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。

税務委員会

委員長　森山　謙一

税務委員会では、研修会の実施や租税調査会の全体会議等への参加を主な活動内容としております。

研修会につきましては、税務委員会のそもそもの設立趣旨にもありますように会員の皆様の税務研修単位２単位を保証するように計画し、実施をしております。

当年度におきましては、すでにご報告させて頂きましたとおり関東信越国税不服審判所の方々を講師にお迎えし、国税不服申立制度の改正に伴う審査請求等について、並びに、最近の裁決事例についての研修会を開催させて頂きました。今後もこのような研修会を継続して開催し、会員の皆様の情報収集と税務研修単位を確保する機会をご提供できるよう計画してまいります。

また、会議等への参加としましては、９月12日に開催されました埼玉県消費税軽減税率制度実施協議会に出席してまいりました。協議会では消費税の軽減税率制度及び中小企業・小規模事業者等の支援措置に関する必要な情報の共有等を行うことを目的としており、参加団体によるメーリングリストを作成し、説明会や研修会の開催情報を周知するなどしております。これからも会員の皆様への有用な情報の提供に資するよう、このような協議会への参加を進めてまいります。

平成29年度中間事業報告

◆事業報告（及び活動報告）

平成29年

４月４日（火）	４会（東京会、神奈川県会、埼玉会、千葉会）打合せ会、関東財務局との連絡会
４月５日（水）	公認会計士制度説明会（於：獨協大学）
４月11日（火）	一般社団法人さいたま市土地区画整理協会面談
４月12日（水）	埼玉弁護士会新役員等就任披露パーティー
４月18日（火）	埼玉県県民生活部消費生活課面談、埼玉県県民生活部共済社会づくり課との打ち合わせ、総務委員会（第１回）
４月19日（水）	正副会長会議（第１回）
４月25日（火）	DVD研修会「公認会計士業務における情報セキュリティ」他、役員会（第１回）
４月26日（水）	DVD研修会「公認会計士業務における情報セキュリティ」他
４月28日（金）	期末監査
５月１日（月）	正副会長会議（第２回）
５月10日（火）	DVD研修会「公認会計士業務における情報セキュリティ」他
５月11日（木）	DVD研修会「公認会計士業務における情報セキュリティ」他、総務委員会（第２回）
５月18日（木）	第72回埼玉土地家屋調査士会定時総会
５月24日（水）	埼玉県商工会議所連合会通常総会・懇親会、関東信越国税不服審判所来会
５月25日（木）	埼玉県行政書士会定時総会・懇親会
５月26日（金）	埼玉県中小企業再生支援協議会「早期経営改善計画策定支援事業」説明会
５月27日（金）	第50回埼玉司法書士会定時総会
６月６日（火）	埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議
６月８日（木）	埼玉県社会保険労務士会定期総会、総務委員会（第３回）
６月９日（金）	議長団候補者との打ち合わせ
６月10日（土）	中小企業診断協会通常総会
６月12日（月）	LIVE研修「国税不服申立制度改正と最近の裁決事例に関する研修会」
６月13日（火）	DVD研修「すぐに役立つ　給与・賞与・退職金の最新実務」他
６月14日（水）	DVD研修「人工知能（AI）が公認会計士に及ぼす影響～公認会計士はいなくなるのか？～」他
６月15日（木）	日本公認会計士協会東京会総会・懇親会
６月16日（金）	証券取引等監視委員会中期活動方針（第9期）に係わる説明会
６月19日（月）	公益社団法人埼玉県不動産鑑定士協会懇親会、日本公認会計士協会千葉会定期総会・懇親会、公認会計士協同組合の第57回通常総代会懇親会
６月20日（火）	関東財務局主催のセミナー「中小企業支援並びに事業承継に関する実情と問題点について　公認会計士と連携した解決策」、日本公認会計士協会神奈川県会定期総会懇親会
６月22日（木）	役員会（第２回）、第２回定期総会・懇親会
６月23日（金）	関東信越税理士会の定期総会懇親会
６月24日（土）	会員親睦ゴルフ（狭山ゴルフクラブ　参加11名）
６月30日（金）	正副会長会（第３回）
７月４日（火）	埼玉友好士業協議会定例会
７月５日（水）	埼玉新聞トップセミナー
７月７日（金）～８日（土）	箱根親睦旅行
７月11日（火）	公認会計士制度説明会（於：埼玉大学）、広報委員会（第１回）
７月12日（水）	関東信越国税不服審判所石川紀所長との面談
７月14日（金）	財務省関東財務局の小野尚前局長・浅野僚也新局長と面談、DVD研修「人工知能（AI）が公認会計士に及ぼす影響」他、友好士業幹事会
７月19日（水）	関東信越税理士会埼玉県支部連合会第62回県連定期総会祝賀会、日本公認会計士協会定期総会・懇親会
７月20日（木）	三地域会業務推進会議（神奈川県会、埼玉会、千葉会）
７月21日（金）	総務委員会（第４回）
７月24日（月）	写真同好会
７月25日（火）	DVD研修「医療法人等の監査研修会（基本編・実務編）」
７月26日（水）	DVD研修　ざっくり演習シリーズ「連結キャッシュフロー計算書の基本」他、NPO法人委員会（第１回）
７月27日（木）	財務省関東財務局野口久雄次長・理財第２課飯野茂雄課長と面談
７月28日（金）	役員会（第３回）、さいたま市社会福祉協議会表敬訪問、埼玉県福祉監査課表敬訪問
８月２日（水）	埼玉県企画財政部改革推進課との面談
８月５日（土）	ハロー！会計inサマースクール2017
８月９日（水）	公益財団法人いきいき埼玉との面談
８月10日（木）	さいたま市監査指導課表敬訪問
８月11日（土）	職員採用書類選考
8月17日（木）	夏季全国研修会「監査の品質管理の実務」他
8月18日（金）	夏季全国研修会「倫理規則開催に向けた動向について」他
８月19日（土）	職員採用面接
８月21日（月）	社会福祉法人委員会（第１回）
８月24日（木）	夏季全国研修会、４会（東京会、神奈川県会、埼玉会、千葉会）打合せ
８月25日（金）	夏季全国研修会
８月28日（月）	総務委員会（第５回）
８月29日（火）	広報委員会（第２回）
８月30日（水）	DVD研修　ざっくり演習シリーズ「連結キャッシュフロー計算書の基本」他
８月31日（木）	DVD研修「医療法人等の監査研修会（基本編・実務編）」

９月１日（金）	役員会（４回）、DVD研修「税務業務部会研修会」
９月４日（月）	川口市企画財政部企画経営課との面談、推薦委員会、学校法人委員会（第１回）
９月７日（木）	４地域会ハロー！会計inサマースクール2017反省会、関東財務局長表敬訪問
９月８日（金）	社会福祉法人委員会（第２回）、地域会活動評価
９月12日（火）	LIVE研修Ⅰ「社会福祉法人法定監査に関する研修会、Ⅱ「埼玉県中小企業再生支援協議会講師による研修会」、埼玉県消費税軽減税率制度実施協議会
９月15日（金）	SAITAMA CPA NEWS 第４号発行
９月19日（火）	埼玉友好士業におけるさいたま市長表敬訪問、よろず相談会
９月20日（水）	青木信用金庫訪問
９月22日（金）	関東財務局との連絡会
９月25日（月）	関東信越国税不服審判所石川所長との面談、埼玉県企業財務部改革推進課面談、LIVE研修「NPO法人委員会研修会」、Ⅰ「NPO法人の活動事例」、Ⅱ「NPO法人のNPO法人会計基準と監査」
９月26日（火）	埼玉友好士業協議会第２回幹事会、埼玉県企画財政部改革推進課との面談
９月28日（木）	研究大会金沢大会
10月２日（月）	総務委員会（第６回）
10月３日（火）	LIVE研修（本部）公認会計士ネットワークキックオフセミナー
10月４日（水）	LIVE研修「社会福祉法人に対する公認会計士監査等の概要」に関するセミナー（第１回）
10月６日（金）	役員会（第５回）
10月10日（火）	広報委員会（第３回）ハロー！会計打ち合わせ
10月13日（金）	越谷市財政部行政管理課来会
10月16日（月）	LIVE研修（本部）「監査事例研修会」
10月18日（水）	秋季全国研修（本部）「非居住者金融講座に関する情報交換（CRS）の実施」他
10月19日（木）	秋季全国研修（本部）「監査事務所における品質監査に係わる改善勧告事例」他
10月20日（金）	秋季全国研修（本部）「公認会計士に求められてきた倫理を振り返る」他、法テラスシンポジューム
10月23日（月）	LIVE研修「社会福祉法人に対する公認会計士監査等の概要」に関するセミナー（第２回）
10月24日（火）	埼玉県総務部入札審査課との面談
10月25日（水）	埼玉県警察本部との面談、DVD研修「諸外国の事例を通じた公認会計士の職業倫理」他
10月26日（木）	DVD研修「税務等に必要な社会保険等の実務」他、農林水産省関東農政局との面談
10月27日（金）	「暮らしと事業のよろず相談会」街宣活動、関東信越国税局長表敬訪問
10月30日（月）	埼玉県商工会議所連合会議員大会

11月１日（水）	役員会（第６回）
11月３日（金）	第40回スリーデーマーチ
11月４日（土）	「暮らしと事業のよろず相談会」
11月６日（月）	社会福祉法人個別相談会
11月７日（火）	LIVE研修「社会福祉法人に対する公認会計士監査等の概要」に関するセミナー（第３回）
11月８日（水）	LIVE研修（青年部主催）「不正への対応等～不正事例を基にした不正のタイプ・手口・対応する監査手続きの解説」
11月９日（木）	広報委員会（第４回）
11月13日（月）	関東財務局「金融業務説明会」
11月14日（火）	DVD研修「人工知能（AI）が公認会計士に及ぼす影響」他、埼玉土地家屋調査士会「境界問題相談センター埼玉」、法務大臣指定10周年記念式典
11月15日（水）	DVD研修「税務に必要な社会保険等の実務」他、埼玉県企画財政部改革推進課来会面談
11月16日（木）	上田知事表敬訪問、第45回公認会計士フォーラム東京大会、埼玉県宅地建物取引業協会創立50周年記念式典
11月17日（金）	LIVE研修「埼玉会新入会員対象研修会」・懇親会
11月22日（水）	第12回彩の国中小企業支援ネットワーク会議
11月25日（土）	LIVE研修「巡回研修会熊谷大会」・懇親会
11月27日（月）	清水さいたま市長表敬訪問
11月28日（火）	埼玉大学山口学長表敬訪問
11月30日（木）	関東信越国税不服審判所長表敬訪問、総務委員会（第７回）
12月４日（月）	社会福祉法人委員会（第２回）
12月５日（火）	経理委員会（第１回）、広報委員会（第５回）
12月８日（金）	ハロー！会計（於：埼玉大学教育学部附属小学校）、役員会（第７回）
12月11日（月）	埼玉新聞トップインタビュー
12月12日（火）	冬期全国研修（本部）「監査業務に係わる審査」他
12月13日（水）	冬期全国研修（本部）「監査の品質管理の実務」他
12月14日（木）	冬期全国研修（本部）「事業承継マニュアル改訂版の解説と支援実務の極意を伝授」他、公認会計士試験合格者祝賀会（東京会主催）
12月15日（金）	親睦ゴルフ（於：大宮国際ゴルフクラブ参加者10名）
12月16日（土）	年末研修会・忘年会、LIVE研修「中小企業を取り巻く状情報セキュリティの最近の動向と対策」「昨今のIOT事情について」
12月20日（水）	公益法人等委員会（第１回）
12月22日（金）	公認会計士制度説明会（於：埼玉大学）
12月26日（火）	業務委員会（第１回）
12月27日（水）	総務委員会（第８回）

謹賀新年

KPMG あずさ監査法人

有限責任あずさ監査法人 北関東事務所

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町１－10－17
シーノ大宮サウスウイング14階
TEL 048-650-5390
FAX 048-650-5381

荒　井　伸　夫

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町２－477
TEL 048-796-5070
FAX 048-796-5071
E-mail araicpa@lake.ocn.ne.jp

飯　野　浩　一

〒349-0121
蓮田市関山１丁目１番17号
TEL 048-769-5501
FAX 048-769-5510

遠　藤　忠　宏

〒344-0038
春日部市大沼５丁目122番地２
TEL・FAX 048-738-3520

大　野　夏　美

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町４－764－101
TEL 048-657-2255
FAX 048-657-2256
E-mail ono-cpa-office@tkcnf.or.jp

小　川　千恵子

工　藤　道　弘

〒330-0844
さいたま市大宮区下町３－７－１　Ｆ804号
TEL 048-648-9598
FAX 048-648-9599

熊　木　雄太郎

〒335-0016
戸田市下前１－13－15
TEL 048-443-3301
FAX 048-445-5792

Building a better working world

新日本有限責任監査法人
さいたま事務所

〒330-8669
さいたま市大宮区桜木町１－７－５
ソニックシティビル19Ｆ
TEL 048-649-8461
FAX 048-649-8462

公認会計士彩の国監査団
理事長　荒井　伸夫

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町２－477
（荒井公認会計士事務所内）
TEL 048-796-5070
FAX 048-796-5071

小　山　　彰

〒333-0848
川口市芝下２丁目３番11号
TEL 048-266-2884
FAX 048-267-3095

佐久間　仁　志

〒350-1122
川越市脇田町15-15 古賀ビル301号
佐久間公認会計士事務所
TEL 049-228-3336
FAX 049-228-3337

柴　田　英　樹

〒336-0021
さいたま市南区別所７－６－８
ライブタワー武蔵浦和内
TEL 048-816-3990
E-mail shibatahideki@ms02.jicpa.or.jp

土　屋　文実男

〒330-0053
さいたま市浦和区前地１－２－15
TEL 048-887-2566
FAX 048-886-8226

中　澤　仁　之

〒336-0026
深谷市稲荷町２丁目４番38号
TEL 048-580-4114
FAX 048-580-4115

西　川　正　純

〒350-0063
川越市幸町１番地７
TEL 049-224-0320
FAX 049-224-0636

Deloitte. トーマツ.
デロイト トーマツ

有限責任監査法人トーマツ さいたま事務所

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町１丁目９番４号
エクセレント大宮ビル
TEL 048-641-7220
FAX 048-641-7256

株式会社日本会計士学館
代表取締役社長　丹羽　宏己

〒102-0074
千代田区九段南４－３－13
麹町秀永ビル３階
TEL 03-3515-8950
フリーダイヤル 0120-393-293

平　山　孔　嗣

〒335-0002
蕨市塚越１－８－６
TEL 048-442-5590
FAX 048-442-6590

蛭　川　俊　也

〒360-0033
熊谷市曙町３－62－２
TEL 048-525-0685
FAX 048-522-5941
E-mail cpahiru@tkcnf.or.jp

真　下　和　男

〒355-0028
東松山市箭弓町１－17－４
TEL 0493-22-2813
FAX 0493-22-2815

宮　原　敏　夫

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂２－２－３
さいたま浦和ビルディング８階
TEL 048-834-1155
FAX 048-834-1156

山　本　清　次

〒344-0062
春日部市粕壁東１－16－14
TEL 048-754-5500
FAX 048-754-0521

吉　島　一　良

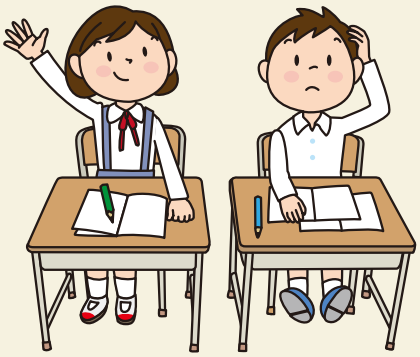
〒357-0036
飯能市南町２番２号
TEL 042-974-4166
FAX 042-974-4167

ハロー！会計
講師募集

今年度から埼玉会でも、小中学生を対象にハロー！会計を実施しています。ハロー！会計を行うには、多くの先生方のご協力が必要です。

そこで、ハロー！会計の講師を引き受けてくださる先生を募集させていただきます。ハロー！会計が初めての方にも研修・打ち合わせ等を予定しています。ささやかながら、講師の報酬もご用意いたしております。ご協力いただける先生は、下記の事項を埼玉会事務局にFAX（048-644-9054）またはメール（saitama@sec.jicpa.or.jp）にてお送りください。

どうぞよろしくお願いいたします。



埼玉会ハロー！会計講師申込用紙

会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

埼玉会行事

研究大会（金沢）

平成29年９月28日（木）石川県金沢市にて、第38回研究大会金沢が開催されました。メインテーマは地方創生～公認会計士の挑戦～。「地方創生」とは、地方の人口減少に歯止めをかけ、首都圏への人口集中を是正し、地方の自律的な活性化を促すための取り組みを指します。

埼玉会NPO法人委員会は、埼玉県庁県民生活部共助社会づくり課が主催するNPO・ボランティア・企業との出会いの場「共助コン」にて会計相談を行いました。その際に、埼玉県内には地元の農業を支援しているNPO法人や一般社団法人があり、その活動を公認会計士として支援することで、地方の活性化を図ることができるのではと思い、パネルディスカッションを企画しました。テーマは「農産物で地方創生～地方から日本全国･海外へ～」です。

パネリストとして埼玉会NPO法人委員会委員長・金子由里子会員、埼玉大学名誉教授、特定非営利活動法人埼玉農業おうえんしたい代表理事・梶島邦江先生、一般社団法人埼玉を食べるプロデューサー/理事・齋藤哲也氏、熊谷市観光協会・時田隆佑氏、そしてコーディネーターとして私（埼玉会副会長、NPO法人委員会委員）の５名で発表しました。

質疑応答のコーナーでは、厳しいご意見もいただきましたが、梶島先生のご回答に質問者も納得いただけたのではないかと思っています。私にとっては初めて発表者として参加した研究大会でした。埼玉会の会員の方々には応援いただきまして、大変感謝しております。この場を借りて御礼申し上げます。

（小川千恵子）

よろず相談会

平成29年11月４日にJR浦和駅西口前コルソ７階ホールにて、埼玉の友好士業による「暮らしと事業のよろず相談会」が開催されました。

この相談会は、埼玉の友好11士業各界が、それぞれ職域の専門性を活かし、共同で県民･団体等からの相談に無料で応じるもので、県民に広く相談の機会を提供し、合わせて各士業の事業及び制度についても知って頂こうとするものです。

各士業の相談担当者数は、日本公認会計士協会埼玉会４名、埼玉弁護士会12名、埼玉司法書士会11名、埼玉土地家屋調査士会５名、関東信越税理士会埼玉県支部連合会５名、埼玉県行政書士会18名（当番会のため、スタッフ15名含む）、埼玉県社会保険労務士会３名、（公社）埼玉県不動産鑑定士協会４名、埼玉公証人会１名、（一社）中小企業診断協会２名、日本弁理士会関東支部埼玉委員会４名で、合計69名の士業相談員にて相談にあたりました。

この相談会は、各士業が協力し合い、ワンストップで相談事例に応じるところに特徴があり、実際に、複数の士業ブースを行きかう相談者の姿が見受けられました。

相談件数は125件にものぼり、今年度も、多くの県民の皆様のお困りごと解決に向けて貢献することができたのではないかと思っております。

さて、この相談会、平成31年度には、我々公認会計士協会埼玉会が当番会となります。その際には多くの会員の先生方にご協力を仰ぐことになろうかと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（川島弥生子）

表敬訪問

関東財務局長表敬訪問

昨年９月７日に小山会長、西川副会長、工藤副会長と私の４人で浅野関東財務局長を訪問しました。本年１月に開催される賀詞交歓会への出席と新春講話をお願いしたところ快く引き受けて頂けました。埼玉県の特徴や地域経済の状況について短い時間でしたが話すことが出来ました。毎年恒例となった関東財務局長を初め関東財務局の皆様と我々埼玉会とで行う研修や懇親会をまた企画したいと思います。（土屋文実男）

関東信越国税局長及び関東信越国税不服審判所所長表敬訪問

東京会、埼玉会及び税務業務部会関東信越分会の合同で、関東信越国税局長、及び関東信越国税不服審判所長を訪問しました。

まず、平成29年10月27日に刀禰俊哉関東信越国税局長を訪問しました。訪問者は、東京会側が淺井万富会長、久保直生副会長、小岩宗雄事務局長、埼玉会側が小山彰会長、土屋文実男副会長、そして税務業務部会関東信越分会長佐久間でした。関東信越国税局側の陪席者は、田島伸二総務部長、熊藤啓介総務課長、西原信一郎税理士管理官でした。

次に、平成29年11月30日に石川紀関東信越不服審判所長を訪問しました。訪問者は、東京会側が淺井会長、久保副会長、小岩事務局長、埼玉会側が小山会長、そして関東信越分会長佐久間でした。関東信越国税不服審判所側の陪席者は、水谷年宏第一部長、小林正樹第二部長、梶田美佐子管理課長でした。

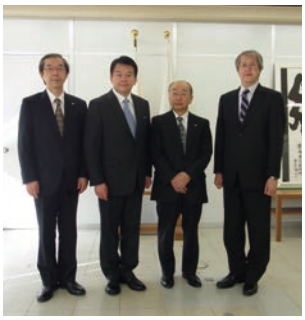
国税局及び国税不服審判所共に、協会の税務相談室相談員に国税局又は国税不服審判所ＯＢを活用いただいていることへの謝辞と、税務業務部会や埼玉会で行う税務研修への講師派遣について積極的に協力したい旨の申し出をいただき、成果のある訪問となりました。（佐久間仁志）

埼玉県知事表敬訪問

昨年11月16日に小山会長、工藤副会長と私の３人で上田埼玉県知事を訪問しました。

SAITAMA CPA NEWSの今号への執筆と本年１月に開催される賀詞交歓会への出席をお願いしたところ快く引き受けて頂けました。また、今年８月に開催予定である日本公認会計士70周年記念の埼玉会が企画するイベントに話が及び、その際にもご出席をお願いしました。さらに、公認会計士協会が地方自治体のディスクロージャーに向けて支援を行っている事例を説明させて頂きました。（土屋文実男）

さいたま市長表敬訪問



昨年11月27日に、小山会長、西川副会長と私の３名で、清水勇人さいたま市長を表敬訪問いたしました。今回の表敬訪問の仲立ちをしていただいた武者清人監査事務局長にお礼のご挨拶に伺い、その後に大矢幸子代表監査委員も含めて総勢５名で市長室へ向かいました。

最初に清水市長と記念撮影をし、その後に小山会長から市長へ新年賀詞交歓会へのご出席とご挨拶のお願いをいたしました。さらに、公認会計士制度に関する説明をし、その活動領域が広がっており公会計にも及んでいること、そして公認会計士が公会計に関してどのように貢献できるかについて市長と意見交換をいたしました。

このような活動を通じて、地域社会への貢献の輪が広がるよう努めたいと思います。（工藤　道弘）

青年部の今年の活動と来年の予定

青年部の今年の主な活動は、研修の企画、及び、昨年度に引き続いての懇親会の開催でした。研修及び懇親会は、平成29年11月８日（水）に開催しました。研修テーマは、「不正への対応等　～不正事例を基にした不正のタイプ、手口、対応する監査手続の解説～」で、講師は、埼玉会青年部の福島清徳会員に担当いただきました。福島会員は、大手専門学校の現役監査論講師であり、ご存知の方も多いと思います。

また、懇親会は居酒屋で３時間飲み放題のコースで行い、16名が参加しました。３時間話題が尽きることなく、大変盛り上がりました。

今年は、研修や懇親会の開催に加えて、勉強会やレクリエーションについても開催し楽しみたいと考えています。

（中澤　仁之）

巡回研修熊谷大会

昨年は３年ぶりに、11月25日（土）に巡回研修熊谷大会及び懇親会を開催致しました。

場所は熊谷駅直結ビルのティアラ21「男女共同参画推進センターハートピア」で開催され、研修内容は、第一部は「相続税の小規模宅地等の特例の実務」、第二部は深谷市在住の中澤仁之会員が講師を担当し、「事業承継支援マニュアルの解説等」を実施致しました。

今回参加者は若干少ないように思えましたが、埼玉北部及びその周辺で活躍されている若手を含めた会員もたくさん在籍していますので、次回開催の際には、より魅力的な研修内容にしていきたいと思います。

“夜の部”は、熊谷では知る人ぞ知る有名な魚介・海鮮料理屋（安くてボリュームのある魚介・海鮮のお店）で懇親会が行われました。２次会、３次会まで参加された会員もいますので、“夜の部”も大盛り上がりとなりました。

巡回研修は、熊谷や川越だけでなく、他の地域も計画中ですので、是非とも御期待下さい。　（村田　克也）

新人研修会

11月17日に恒例埼玉会新規登録者研修会（通称新人研修会）を企画いたしましたところ、今年は５名が研修会に、１名が懇親会から加わり和やかに開催することができました。

小山会長の歓迎の言葉、埼玉会設立趣旨、概況説明ののち、西川副会長より組織、業務、行事等につき詳細な報告がありました。休憩をはさみ、研修担当平山より埼玉県での開業に際し参考となるような事柄を種々実務的な視点で報告させていただきました。監査法人を定年で卒業された先輩から登録間もない方まで幅広い会員のご参加を得て、活発な質疑応答がありました。場所を移しての懇親会でも有意義な意見交換がなされたと感じました。

今後も縁あって埼玉に集った方々に少しでも業務、研修、厚生各分野でお役にたてるよう、会長を先頭に皆で会を充実させて行くとともに、新規登録者のご発展を心よりお祈り申し上げます。

（平山　孔嗣）

社会福祉法人の勉強会・相談会

社会福祉法人委員会におきましては、講師をお招きして、ライブのセミナーを実施いたしました。このような機会は、今後、監査対象が広がることが確定次第、より多くの勉強会の場を設けて参りたいと考えております。

また、３回に及ぶセミナー及び個別相談会におきましては、この原稿を執筆させていただいている時点で未確定であるからでしょうか、法人数が多い収益10億円以上の社会福祉法人の方々にとっては、まだまだ様子見の感があるのか、満員御礼とは参りませんでした。

しかしながら、法定監査が入る前の予備調査等を体験するにつれ、日本公認会計士協会が発行している社会福祉法人向けのパンフレットに強調されている「公認会計士の早期関与」の重要性を本当に痛感いたしております。この点を社会福祉法人及び行政の方々にご理解いただくためにも、セミナー及び個別相談会は来年度も何らかの形で実施してゆくことが、ひいては、公認会計士監査の品質確保につながり、社会的使命を全うできるものであると考えております。

（大野　夏美）

スリーデーマーチ

東松山市で11月に開催されるスリーデーマーチ（ウォーキング大会）に、昨年も埼玉会は参加致しました。

昨年は天候に恵まれ、途中上着を脱ぐ場面もあったり、気温も暖かいコンディションとなりました。ウォーキングの距離は５kmから50kmと様々ですが、殆どの会員は10kmを選択します（私も５年連続で10kmを選択しています）。10kmの場合、時間は10時～14時（途中昼休みあり）くらいです。

スタート地点では、参加したメンバー全員が壇上にあがり、イベント司会者のインタビューのもと、会長が「日本公認会計士協会埼玉会」をアピールすることが恒例となっています。ウォーキング中は、普段聞けない仕事の話やプライベートの話、埼玉会の話など、より一層親睦を深めることができますので、あっという間に10kmが終わります。

ウォーキング後は、これまた恒例の懇親会です。東松山は焼き鳥（辛味噌だれの串焼き豚）が有名ですので、これを食べずに帰るわけにはいかず、焼き鳥専門店で懇親会を開催しました。懇親会まで時間がありましたので、懇親会を待たずにビールを飲む会員が続出していましたが（笑）。

今年も開催予定ですので、新規会員を含めたたくさんの会員の御参加をお待ちしています。

（村田　克也）

相談役
コラム

埼玉会の充実と発展

ー会員に求められるものー

相談役　真下　和男

日本公認会計士協会埼玉会が東京会より独立し第２年度を迎え、順調に進んでいることお慶び申し上げます。SAITAMA CPA NEWSも第５号となりました。私は2004年１月１日発行の埼玉県会CPAニュースに「埼玉県会の歩み」について寄稿させていただきました。それから14年経ちましたが、当時を振り返ると平成11年吉島一良会長時代から事務局設置機運が高まり、坂本隆信会長になりようやく実現ができ、現在のソニックシティへは熊木雄太郎会長時代に移転できました。このことにより、埼玉県会独立への会員の願いが小山彰会長により日の目を見ることができました。

春秋の２回各界の功労者へ叙勲制度が設けられていますが、そのランク付けは一般にはその人個人の業績評価によることは勿論ですが、団体・業界等の構成員の人数も判断基準の尺度と聞いています。社会に与える影響の大きさを考慮する必要からだと思われます。世間では質と量、政治は力、その背景は数と経済力、反面、数ではなく社会が求める高度の見識がより重要だとの観点も重視せねば、社会の秩序が継続発展できないことになります。公認会計士に求められるものは、高い識見とその実行力と言えるでしょう。

社会において人権が最も重要視されなければなりませんが、経済活動が活発になった現代社会では公平な活力や倫理観のある経済活動が発展・維持されることが肝要です。

公認会計士の職業はこのような観点に立ち、次第にその構成員の増加も望まれ、埼玉会も経済活動と立地条件、地域社会への貢献度からその期待感を背景として、充実の速度を高めてきました。

私は埼玉県会の役員や相談役として、仲間と共に20～30年間埼玉会の発展に人一倍関心を持ち続けてきたので、最近の充実ぶりはまことに喜ばしいものです。埼玉県や各市町村、公益団体等から公認会計士を推薦してほしいという要望も年々増加して、現在は数十件となっています。私は推薦委員としてその選考にも携わっていますが、できるだけ若い人、女性を選考し、長年の同一職への推薦を避け、公平な人事になるように努めたいと思っています。それには会員の先生方もできるだけ埼玉会への出席を多くして、研修に努め、役員も積極的に引き受けるようにして下さることを希望します。

埼玉会の充実は皆様の職業の充実・発展に必ずつながると思います。

履修結果を申告しましょう
－CPE義務達成に向けて－

平成29年度の履修結果の申告期限が迫っています。
まだ義務を達成されていない会員はご注意ください!

☑**申告もれはありませんか?**

平成29年4月1日から履修したもので、申告がお済みでないものはありませんか？

☑**必要な単位数に到達していますか?**

次のいずれをも満たす単位数以上を履修し申告する必要があります。

1.当該事業年度を含む直前3事業年度合計　120単位
2.当該事業年度最低　20単位
3.当該事業年度の必須単位数

☑**必須単位数は履修・申告しましたか?**

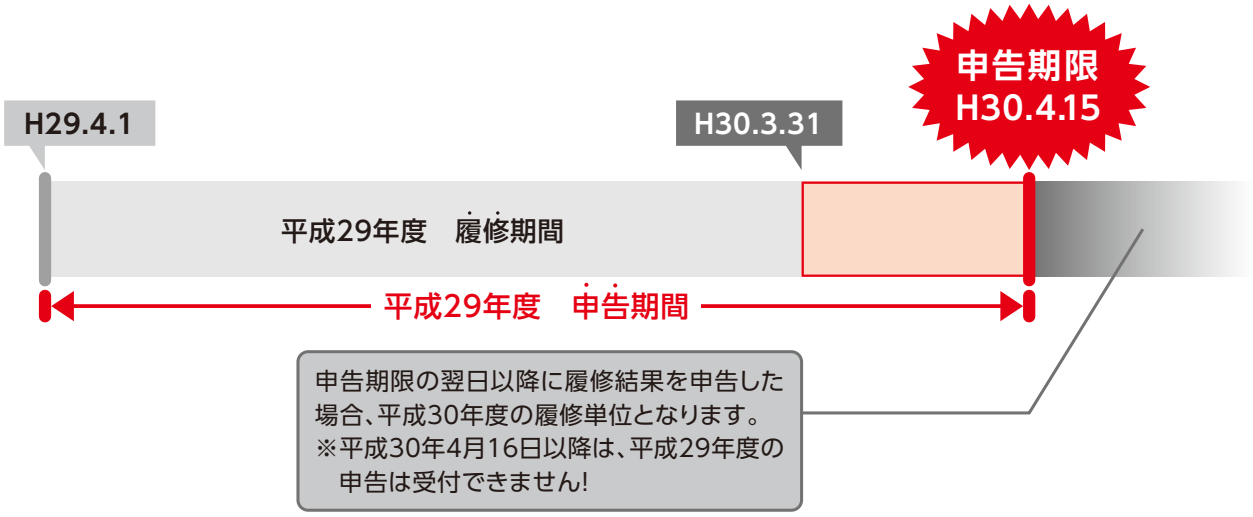
必要な単位数として、次の必須単位数を履修し申告しなければなりません。

・全会員（免除の承認を受けた会員を除く）……　「職業倫理」　2単位
　「税　　務」　2単位

加えて

・法定監査業務に従事する会員……　「監査の品質及び不正リスク対応」　6単位
　（うち2単位以上は不正事例に該当する研修とする。）

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの履修結果のうち、
申告がお済みでないものについては、**平成30年4月15日**までに申告してください。



❗ご注意ください

※eラーニング、IFRSeラーニング教材での受講については、平成30年3月31日までに受講が完了したものが履修結果として反映されます。平成30年4月1日以降受講したものについては平成30年度の履修結果に反映されますのでご注意ください。

会員コラム

ツール・ド・フランスさいたまの魅力

原口　　純

新年明けましておめでとうございます。埼玉会の会員の皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

近年公道でロードバイクを目にすることが多くなったかと思います。私も2007年に友人の影響でロードバイクを購入し、両親も兄もロードバイクに乗ります。両親は雨が降らない限り毎日のようにロードバイクで山に登り、原口家で最強の脚力を持つのは70歳を超える父親となっております。私も兄もついていくことができません。

埼玉県は自転車保有率が日本一で、川沿いを走る日本一長いサイクリングロードを有する県だそうです。私の実家の近くの物見山でも休日は多くのローディー達が山登りを楽しんでおり、自転車を楽しむ環境には最適の県なのではないでしょうか。

ただ、ロードバイクでの事故も多くなっているとのことですので、無理をせずマナーを守って楽しみたいものです。

さて、昨年11月４日にさいたま新都心駅周辺で「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」が開催されました。

ツール・ド・フランスは、フランスや周辺国の一部を舞台に争われ、約3,300kmを３週間かけて走破する自転車レースです。ジロ・デ・イタリア、ブエルタ・ア・エスパーニャと共に３大ツールと称される世界最高峰の大会で、その「ツール・ド・フランス」の名前を冠した自転車競技が埼玉で開催されるという、自転車好きにとってはとんでもない神イベントです。

私も過去に開催されたイベントを実際に観戦しに行きましたが、公道に短い周回コースを作り、そこを何周もまわって順位を競うクリテリウムというスタイルであり、同じ場所で何度も選手の走りを見ることができるのでオススメです。

昨年も本大会の総合優勝者であるクリス・フルーム選手やスプリンターで有名なマーク・カヴェンディッシュ選手などのスーパースターが来日してさいたま新都心を駆け抜けました。このイベントがきっかけで自転車レースに興味を持たれた方も多いのではないでしょうか。

本場のツール・ド・フランスはテレビ観戦していますが、ツールの魅力は、チームの作戦、選手の駆け引きや超人的な選手の走りなど純粋なレースを楽しむというのもありますが、「景色を楽しむ」ことも魅力の一つです。長いステージでは１日に200キロ以上走るので、コースの途中には観光名所が設定されていることが多く、美しい古い町並みや古城、ひまわり畑や険しい山々などの大自然がテレビに映し出され、旅行しているような気分にさせてくれますし、実際にフランスに行ってみたいと思わせてくれます。機会があれば自転車レースに興味が無くても、フランスの旅行番組と思って是非テレビ観戦してみてください。

2020年の東京オリンピック種目にも自転車ロードレースがあります。世界中にオリンピックは放送されますので、名所を織り交ぜつつ素晴らしいコースで日本をアピールしていただきたいですね。

事務局紹介

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は会員の皆様よりご厚誼を賜り感謝申し上げます。地域会として独立しまして、早、１年９ヶ月が経ちました。昨年度は社会福祉法人監査の導入、本年度は医療法人監査の導入と公認会計士の業務範囲が拡大しており、事務局職員としても日々精進しなければと感じております。昨年は事務局職員の異動等があり些か落ちつかない１年ではありましたが、今年は執行部の３年目にも当たりますので大地に根をはやした事務局を目標に頑張っていきたいと思います。会員の皆様、本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

（事務局長　濱田　　実）

昨年６月入社し、７ヵ月が経ちました。現在は埼玉会の広範囲にわたる業務に対応するため一歩一歩足を進めている状態です。埼玉会の会務がスムーズに流れるよう、また、会員の皆様のお役にたてるよう努力して参ります。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

（事務局　森谷　孝一）

10月入社し、３ヵ月が経ちました。前職では全国転勤しながら仕事と育児を両立する中で、常に効率よく業務を行うことを意識し、業務にあたってきました。現在は経理中心に担当しておりますが、多義に渡る事務局の役割を把握し、皆様のご要望にスムーズに応えられるよう努めて参りますので、ご指導頂きます様、お願い致します。

（事務局　松木　康子）

会員数（平成29年11月30日現在）

種別	会員				準会員						合計
	公認会計士	外国公認会計士	監査法人	計	一号準会員	二号準会員	三号準会員	四号準会員	五号準会員	計	
埼玉	708	0	0	708	3	39	0	91	－	133	841
全国	30,280	2	227	30,509	74	660	1	4,895	150	5,780	36,289

（注）１．一号準会員は、公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者
２．二号準会員は、会計士補
３．三号準会員は、会計士補となる資格を有する者
４．四号準会員は、公認会計士試験に合格した者（一号準会員に該当する者を除く。）
５．五号準会員は、特定社員（地域会には所属しない。）

役員名簿　【会　長】小山　彰

監事：島田紘一郎／深谷　豊

担当	総務	経理	厚生	研修	業務	調査研究	広報	合計
副会長	西川　正純	飯野　浩一	小川千恵子	平山　孔嗣	工藤　道弘	土屋文実男	佐久間仁志	７名
常任幹事	長内　温子	金井　千尋	村田　克也	大野　夏美	中澤　仁之	森山　謙一	芳原　勝伸	７名
幹事	遠藤　忠宏 長田　慶洋 鎌田　竜彦	青山　裕之	長岡　千晶 西村　克広	金子由里子 高島　誉章 森田　忠宏	小笠原薫子 川島弥生子 佐野　勝正 松本正一郎	中村友理香 松浦　竜人 和田　正夫	小宮山　榮 筑紫　徹 原口　純	19名

将棋同好会　入会者大募集

日本公認会計士協会埼玉会では、将棋同好会を立ち上げることになりました。

そこで、将棋同好会の会員を募集します。

主な活動は、大宮ソニックシティの埼玉会研修室で行い、同好会の後は懇親会を行う予定です。開催頻度は年に数回です。月会費等はかかりません。懇親会の実費のみ各自で負担する形式を予定しています。

将棋が好きな方だけでなく、将棋にご興味がある皆様も是非、ご参加ください。

入会を希望される方は、将棋同好会入会希望の旨・氏名・登録番号・電話番号・メールアドレスを記載して、saitama@sec.jicpa.or.jp宛にメールをお送りください。

皆様のご入会をお待ちしています。

写真同好会　入会者募集

写真同好会は、日本公認会計士協会埼玉会最古の同好会です。

主な活動は、大宮ソニックシティの埼玉会研修室で行い、同好会の後は懇親会を行っています。開催頻度は年に数回です。不定期で写真撮影会も実施しています。月会費等はかかりません。懇親会の実費のみ各自で負担する形式です。

写真同好会には、老若男女多くの皆様が参加されています。プロ並みの写真を撮影する方だけでなく、スマホで写真を撮影する方も多く参加していますので、初心者の方も是非ご参加ください。

入会を希望される方は、写真同好会入会希望の旨・氏名・登録番号・電話番号・メールアドレスを記載して、saitama@sec.jicpa.or.jp宛にメールをお送りください。

皆様のご入会をお待ちしています。

埼玉会ホームページ　http://www.jicpa-saitama.jp

日本公認会計士協会埼玉会
〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
TEL：048-644-9050　FAX：048-644-9054
E-mail：saitama@sec.jicpa.or.jp
URL：http://www.jicpa-saitama.jp/

SAITAMA CPA NEWS　Vol.5　2018.1
発行人：埼玉会会長　小山　彰
編集人：副会長（広報委員会）　佐久間　仁志
構　成：常任幹事（広報委員会）　芳原　勝伸
印刷所：株式会社正文社
写真提供：埼玉会写真同好会
表　紙：埼玉会写真同好会